



2025年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年3月14日

上場会社名 SCAT株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3974 URL <https://www.scat.inc/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長島秀夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理財務担当 (氏名) 西尾 忍 (TEL) 03(6275)1130
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年10月期第1四半期の連結業績(2024年11月1日~2025年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期第1四半期	626	△7.1	29	△33.9	29	△37.5	17	△39.2
2024年10月期第1四半期	674	3.9	44	7.2	47	10.4	29	△9.8

(注) 包括利益 2025年10月期第1四半期 16百万円(△48.0%) 2024年10月期第1四半期 30百万円(△8.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年10月期第1四半期	円 銭 6.34	円 銭 —
2024年10月期第1四半期	10.73	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年10月期第1四半期	百万円 2,860	百万円 1,941	% 67.9
2024年10月期	2,938	1,946	66.2

(参考) 自己資本 2025年10月期第1四半期 1,941百万円 2024年10月期 1,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年10月期	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 —	円 銭 7.00	円 銭 13.00
2025年10月期	—	—	—	—	—
2025年10月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日公表の「中間配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年10月期の連結業績予想(2024年11月1日~2025年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,718	4.8	215	45.8	215	37.5	136	36.6	48.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年10月期 1 Q	5,240,000株	2024年10月期	5,240,000株
---------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2025年10月期 1 Q	2,402,111株	2024年10月期	2,403,211株
---------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年10月期 1 Q	2,837,452株	2024年10月期 1 Q	2,761,315株
---------------	------------	---------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当四半期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2024年11月1日から2025年1月31日)におけるわが国の経済は、社会・経済活動の持ち直し傾向が続いている一方で、国際的な紛争の長期化や米国トランプ氏の大統領就任に伴う期待感と警戒感による為替相場への影響、物価高騰など先行きは不透明な状況が続いております。コア事業の情報通信業界では、デジタル技術の進展・普及に伴い、企業の生産性向上や競争力強化を目的としたIT・DX関連サービスの提供需要が一層求められており、追い風と言える市場環境が継続しております。

このような環境のなか当社は、2024年10月期からの中期3ヵ年計画を発表し、株主価値・企業価値向上のための施策、及び成長戦略に向けた仕掛けに取り組んでおります。

美容ICT事業では、経済産業省よりDX認定事業者、IT導入支援事業者に認定され、提供する製品やコンテンツサービスがIT導入補助金の対象となり、さらに、既存ユーザーの一部には、本年10月までのWindows10の保守終了に伴う機器の入替え需要など引き合いが増えてきております。これらを背景に、美容業界のICTサービスの業容拡大、アプリケーションソフトの機能拡充、及びキャリア人材採用等の基幹的な投資を行い、持続的な成長のための基盤整備に努めております。

ビジネスサービス事業では、中小企業支援に関する専門知識や実務経験が評価され、経済産業省より経営革新等支援機関に認定され、コンサルティングサービスの拡充に努めております。

介護サービス事業では、介護付き有料老人ホームの入居稼働率が改善し、安定した収益を確保しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高626,335千円(前年同四半期比7.1%の減少)、営業利益29,218千円(前年同四半期比33.9%の減少)、経常利益29,560千円(前年同四半期比37.5%の減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益17,991千円(前年同四半期比39.2%の減少)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益に基づいております。

a 美容ICT事業

美容ICT事業では、収益の柱であるシステム販売(物販)に、保守、コンテンツ、及び新たな課金型サービス等のストック収益の上積みを進めております。

当第1四半期は、売上の先行指標である受注の獲得に徹した行動をまいりました。その結果、当初の見通し通り進捗し、第2四半期以降の売上予定案件も着実に積み上げてまいりました。今後、IT導入補助金2025のスタートやWindows10のサポート終了に伴う入れ替え特需を確実に取り込めるよう推進してまいります。

美容ディーラー向け販売管理システム「i-SCAP/EX」においては、ヘアサロン「モッズ・ヘア」を運営管理する株式会社エム・エイチ・グループ(東証スタンダード:9439)の展開する「請求書クラウド for Beauty」の販売、連携の協力体制を進めております。

課金型ストックビジネスでは、2024年11月より販売開始いたしました新コンテンツの「Lineup EC」をスタートしサロン様においてLINEミニアプリ内で手軽にECショップが展開できるサービスを提供いたします。これによりサロン様の新たな収益源の構築に寄与しWEBコンテンツ収益で更なる積み上げを行ってまいります。さらに、既存のコンテンツのバージョンアップはもとより、新たに今後のサービスに欠かせないテクノロジーであるAIを活用した仕組みの構築にも着手しシステムやコンテンツへの成果へと繋げてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は353,702千円(前年同四半期比13.9%の減少)、セグメント利益は3,254千円(前年同四半期比89.7%の減少)となりました。

b ビジネスサービス事業

ビジネスサービス事業では、中小企業の経営支援のため、会計・経理業務を中心に各種サービスを提供しております。経済産業省より「経営革新等支援機関」に認定され、お客様の経営課題の改善のための経営力向上計画策定や事業再構築支援等のコンサルティングサービスを提供しております。

コア業務の会計サービスは、月次決算等の財務報告を中心に、資金繰りサポートや記帳及び給与計算等の事務代行（BPO）サービスの提供、並びに関連する会計・給与・販売管理ソフトのITシステム運用支援、及びリスクマネジメント（生保・損保代理店業務）を行っております。これらのサービス提供により、既存顧客との関係を強固にし、さらにパートナー契約企業、地域の金融機関や士業とのアライアンスにより安定した新規取引先の獲得につながっております。

当第1四半期においては、学校法人等の公益法人向け会計サービスを積み上げ、月次会計・決算代行サービスのコア業務が安定した伸びとなりました。さらに、クライアントのビジネス周辺に係る財産管理サービスの拡充のため、宅地建物取引業の開始やメットライフ生命との新たな代理店契約の締結など精力的にサービスの拡充を図っております。引き続きクライアントのデジタルを活用した効率化や事業承継、認定支援機関としてのコンサルティングサービスの提供など企業のバックヤード業務に対する各種サービスの拡充に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は79,625千円（前年同四半期比0.7%の増加）、セグメント利益は7,662千円（前年同四半期比62.5%の増加）となりました。

c 介護サービス事業

介護サービス事業では、介護付き有料老人ホームを3施設（栃木県佐野市、群馬県館林市、長野県小諸市）及び在宅支援事業（通所介護・短期入所生活介護・居宅介護支援・健康促進事業・訪問介護事業）を1施設（長野県小諸市）運営しております。

介護付き有料老人ホームでは、各種イベントや施設見学会の再開、地域医療・介護関係機関との連携強化により入居が大きく促進され、当期首より安定稼働しております。また、デイサービスやショートステイ等の在宅介護サービスにおいても、感染症対策（BCP）の整備・実施により当施設では大きな感染を発生させることなく高い稼働率を維持しております。

また、費用面においては、高騰する食材価格や光熱費などのコストを適切にコントロールする一方、質の高い介護サービスの維持・拡充のための人件費や介護スタッフ補充に伴う採用活動費用については、将来への投資と考え拡充しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は189,471千円（前年同四半期比5.4%の増加）、セグメント利益は15,539千円（前年同四半期比219.8%の増加）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ45,559千円減少し、1,532,831千円となりました。これは主として、現金及び預金の減少52,569千円、売掛金の減少10,249千円、商品の増加11,421千円によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ32,853千円減少し、1,327,504千円となりました。これは主として、建物及び構築物（純額）の減少6,430千円、ソフトウェアの減少27,370千円、ソフトウェア仮勘定の増加16,571千円、繰延税金資産の減少8,433千円によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ69,656千円減少し、356,857千円となりました。これは主として、未払法人税等の減少17,898千円、賞与引当金の減少38,291千円によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ4,048千円減少し、561,606千円となりました。これは主として、長期借入金の減少15,420千円、退職給付に係る負債の増加8,795千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ4,707千円減少し、1,941,872千円となりました。これは主として、利益剰余金の減少3,338千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月期の連結業績予想につきましては、2024年12月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つであると認識しており、「安定配当を基本とした継続的な株主還元」を行うことを基本方針としております。また、株主への利益還元機会を充実させることを目的に、年2回の配当（中間配当と期末配当）を実施しております。

2025年10月期の配当につきましては、当期年度末に向けて受注及び業績見通しの進捗が堅調に推移しており、市場環境等を踏まえて、当初の年間配当予想1株あたり13円（中間配当6円、期末配当7円）を修正し、年間配当予想1株あたり14円（中間配当7円、期末配当7円）を予定いたします。

なお、当社では、剰余金の配当等を取締役会の決議をもって定めることができる旨を定款で定めております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,258,499	1,205,929
売掛金	236,605	226,355
商品	24,400	35,821
仕掛品	1,206	755
その他	57,789	64,074
貸倒引当金	△109	△104
流動資産合計	1,578,391	1,532,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,036,446	1,036,446
減価償却累計額	△433,409	△439,839
建物及び構築物(純額)	603,037	596,607
土地	210,813	210,813
その他	138,681	127,248
減価償却累計額	△122,034	△110,948
その他(純額)	16,647	16,299
有形固定資産合計	830,498	823,720
無形固定資産		
ソフトウェア	128,760	101,390
ソフトウェア仮勘定	84,970	101,542
のれん	22,229	18,524
その他	2,427	2,157
無形固定資産合計	238,388	223,614
投資その他の資産		
投資有価証券	63,240	60,450
繰延税金資産	161,450	153,017
その他	82,477	82,360
貸倒引当金	△15,697	△15,658
投資その他の資産合計	291,470	280,168
固定資産合計	1,360,358	1,327,504
資産合計	2,938,749	2,860,336

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,257	41,798
1年内返済予定の長期借入金	61,680	61,680
未払費用	112,907	105,188
未払法人税等	22,560	4,662
賞与引当金	71,174	32,883
その他	106,934	110,644
流動負債合計	426,513	356,857
固定負債		
長期借入金	116,840	101,420
役員退職慰労引当金	16,685	16,685
株式給付引当金	36,693	38,743
退職給付に係る負債	338,883	347,679
資産除去債務	40,810	40,902
その他	15,741	16,175
固定負債合計	565,654	561,606
負債合計	992,168	918,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
資本剰余金	348,199	348,199
利益剰余金	2,238,524	2,235,185
自己株式	△838,724	△838,153
株主資本合計	1,947,999	1,945,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,418	△3,358
その他の包括利益累計額合計	△1,418	△3,358
純資産合計	1,946,580	1,941,872
負債純資産合計	2,938,749	2,860,336

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年11月1日 至2024年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年11月1日 至2025年1月31日)
売上高	674,370	626,335
売上原価	406,218	385,168
売上総利益	268,152	241,166
販売費及び一般管理費	223,966	211,947
営業利益	44,186	29,218
営業外収益		
受取利息	0	—
受取保険金	1,482	—
施設利用料	398	437
助成金収入	1,243	—
その他	350	224
営業外収益合計	3,474	661
営業外費用		
支払利息	346	319
営業外費用合計	346	319
経常利益	47,314	29,560
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	47,314	29,560
法人税、住民税及び事業税	1,215	2,285
法人税等調整額	16,483	9,283
法人税等合計	17,699	11,569
四半期純利益	29,615	17,991
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,615	17,991

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)
四半期純利益	29,615	17,991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,223	△1,940
その他の包括利益合計	1,223	△1,940
四半期包括利益	30,839	16,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,839	16,051

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	美容ICT事業	ビジネス サービス事業	介護サービス 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	410,711	79,057	179,185	668,954	—	668,954
その他の収益(注) 2	—	—	590	590	4,825	5,416
外部顧客への売上高	410,711	79,057	179,776	669,545	4,825	674,370
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	840	840
計	410,711	79,057	179,776	669,545	5,665	675,210
セグメント利益	31,708	4,715	4,859	41,283	2,902	44,186

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	41,283
「その他」の区分の利益	2,902
四半期連結損益計算書の営業利益	44,186

当第1四半期連結累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	美容 I C T 事業	ビジネス サービス事業	介護サービス 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	353,702	79,625	188,880	622,208	—	622,208
その他の収益(注) 2	—	—	590	590	3,535	4,126
外部顧客への売上高	353,702	79,625	189,471	622,799	3,535	626,335
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	840	840
計	353,702	79,625	189,471	622,799	4,375	627,175
セグメント利益	3,254	7,662	15,539	26,456	2,762	29,218

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	26,456
「その他」の区分の利益	2,762
四半期連結損益計算書の営業利益	29,218

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)
減価償却費	40,401千円	39,015千円
のれんの償却額	3,704 〃	3,704 〃

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は2025年3月14日開催の取締役会において、2025年6月1日(予定)を効力発生日として、当社の完全子会社であるV I D株式会社を吸収合併することを決議いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被結合企業の名称及び事業の内容

被結合企業の名称	V I D株式会社
事業の内容	美容I C T事業(ソフトウェアの開発販売)

(2) 企業結合日

2025年6月1日(予定)

(3) 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社とし、V I D株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併方式であります。

(4) 結合後企業の名称

S C A T株式会社

(5) 企業結合の目的

当社及びV I D株式会社は、主に美容I C T事業(美容サロン向けP O Sシステムのシステム開発・保守・販売)を行っております。このたび、経営の効率化の観点から検討を重ねた結果、グループ内の経営資源を集約し業務運営の一体化を図るため、同社を吸収合併することといたしました。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。